

日本海地震・津波プロジェクト

沖合構造調査

国立研究開発法人

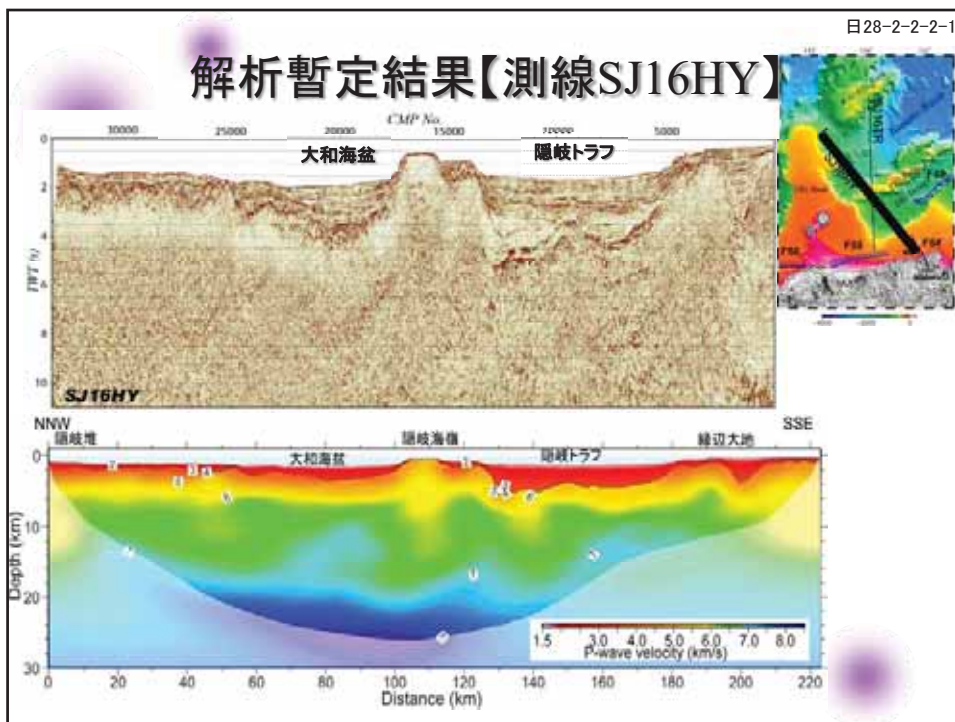
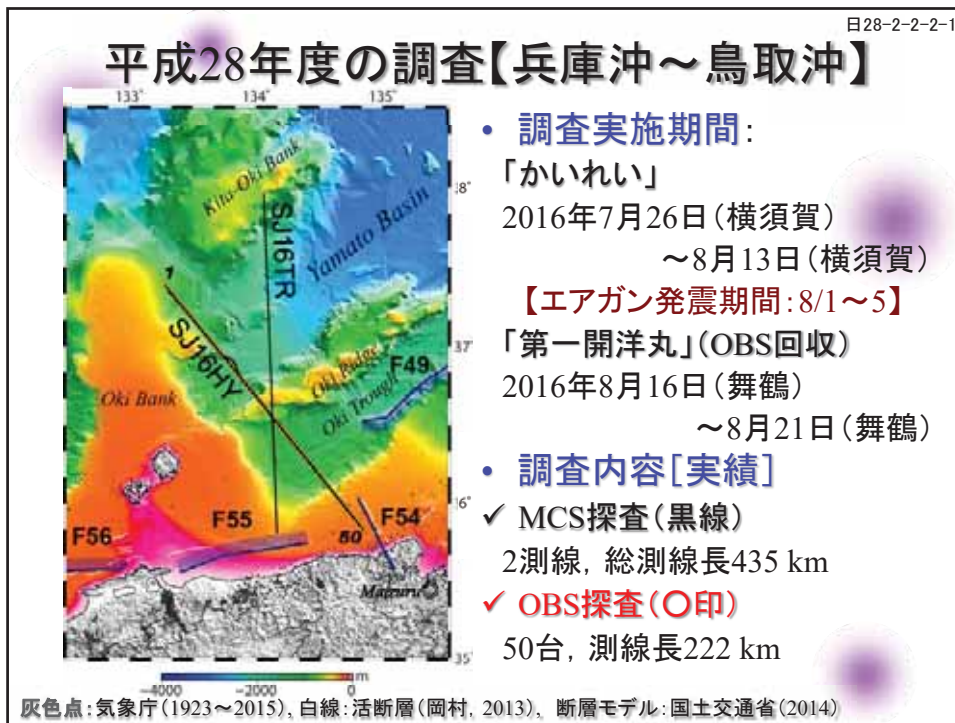
海洋研究開発機構

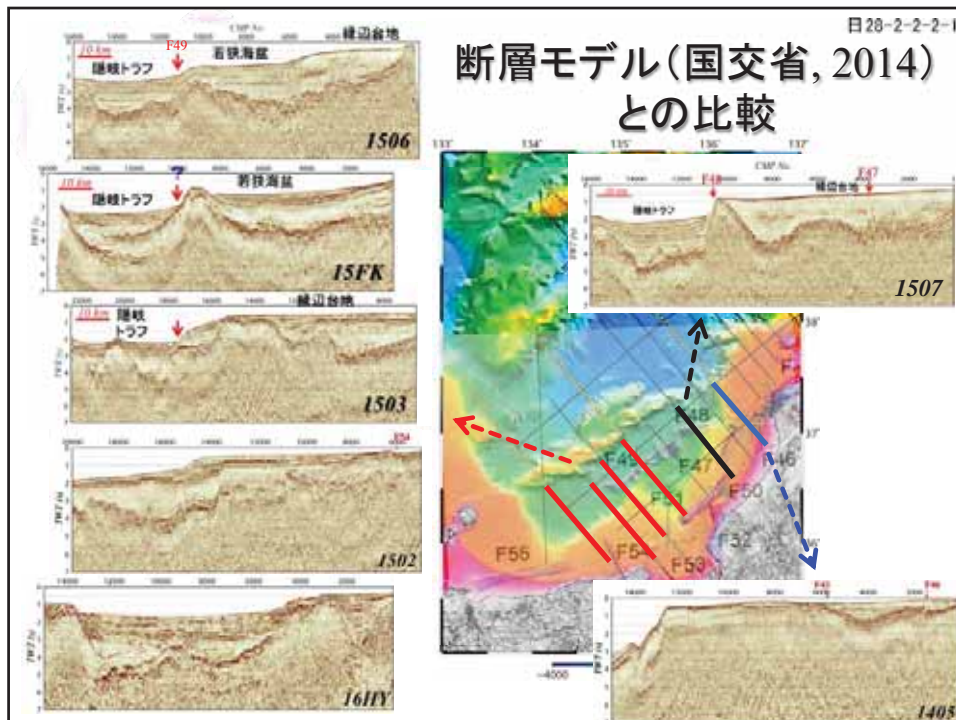
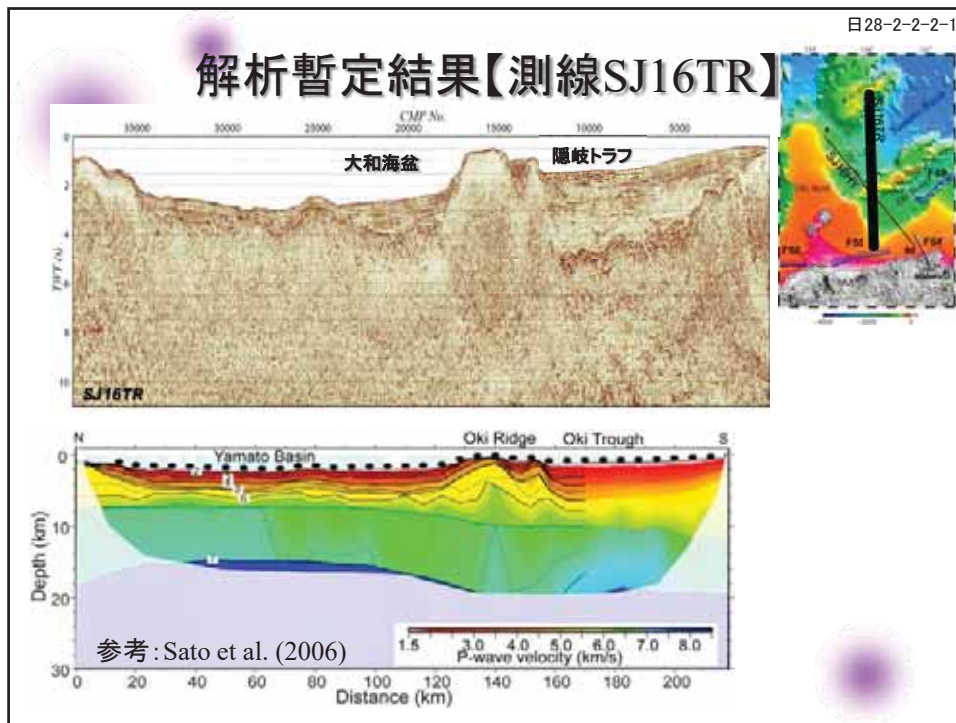


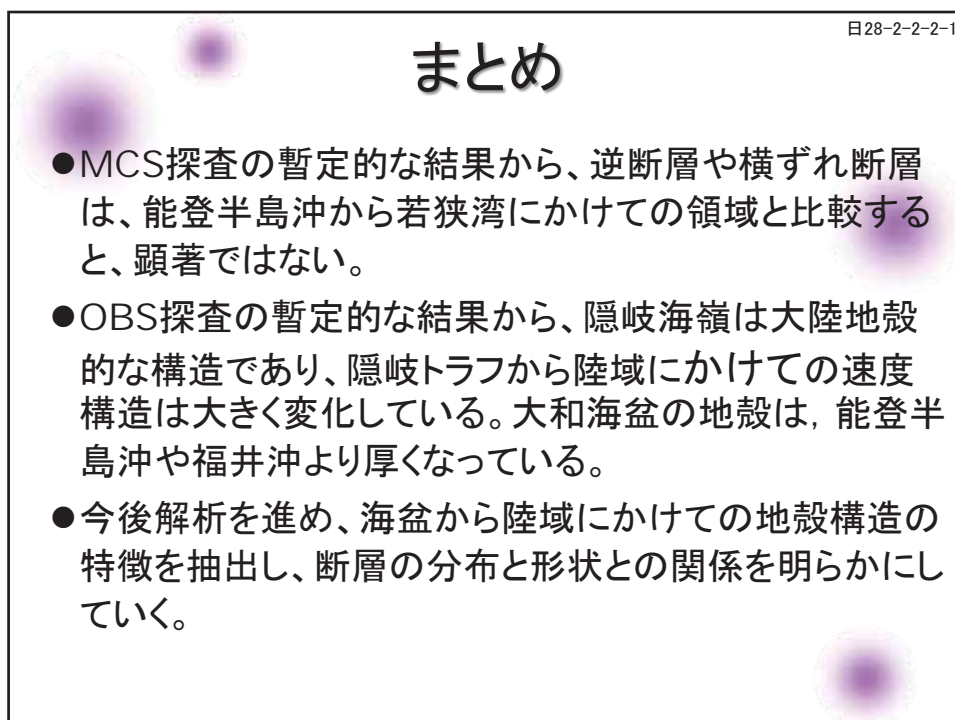
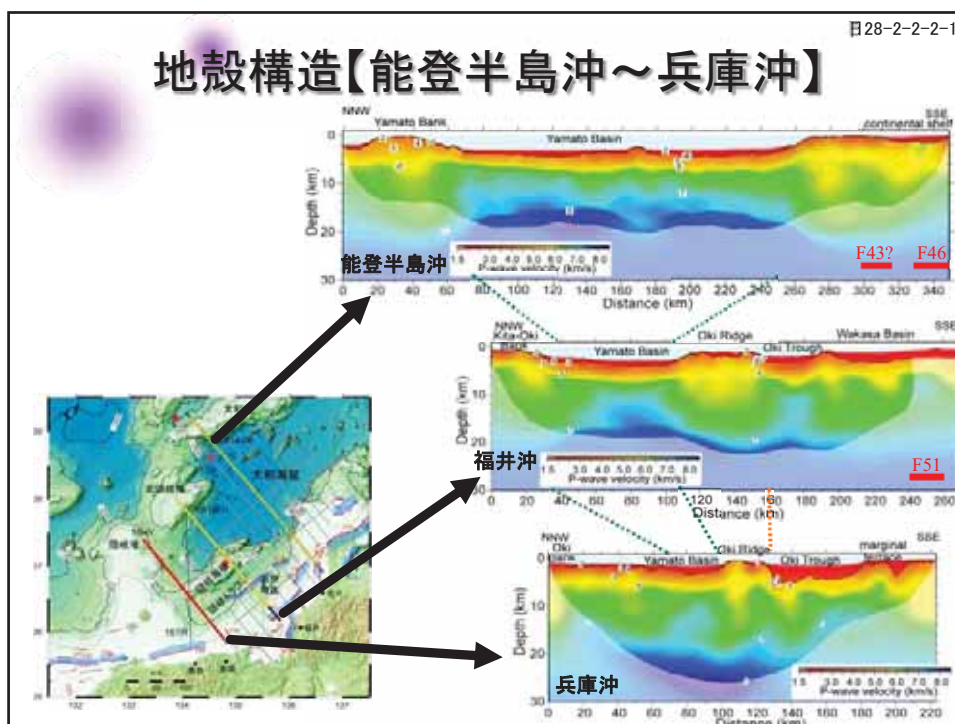
沖合構造調査(線表)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
① 歴史地震・古津波調査		新潟・北陸地域	山陰・九州		東北・北海道			総合解析
② 海域構造調査								
(1) 沖合反射法地震探査	北陸沖域 アークの探査	北陸沖域	北陸沖域	北陸沖域	北海道沖域	東北沖		総合解析
(2) 海域プレート構造調査	大和海域の構造調査(広平域OBS)				日本海沿岸構造調査(広平域OBS)			総合解析
③ 沿岸海域および海陸 統合構造調査	北陸沖沿岸調査 富山・トラフ探査 鳥取・関 島半島沖	山陰・九州 沖沿岸調査 若狭沖 鳥取沖			北海道沖・北東北沿岸調査 札幌沖 下北沖 青森沖			総合解析

目的: 北海道北西沖～鳥取沖にかけての日本海の沿岸部から大和海盆・日本海盆に至る海域において、長大ストリーマケーブルを用いたマルチチャンネル反射法地震探査と海底地震計を用いた地震探査を実施し、日本海の地殻構造・断層の位置と形状を明らかにする。

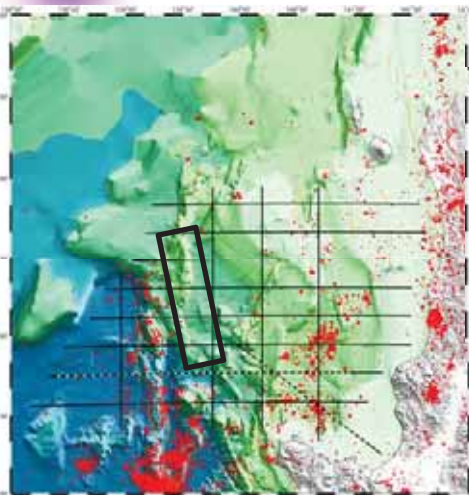






日28-2-2-1

平成29年度の調査計画案(北海道北西沖)



赤点: 気象庁一元化震源(1923~2015)
橙色線: 活断層(岡村, 2013)
黒枠: 1940年積丹半島沖地震震源域(Satake, 1986)

- 調査予定時期(調整中):
2017年6月~7月
- 調査内容
(測線の詳細は現在調整中):
 - ✓ MCS探査(実線)
 - ✓ OBS探査(丸印)
- 使用船舶:「かいめい」

